

宜山学区 まちづくり計画

引き継ごう「宜山しぐさ」

思いやりを行動に！



2016年（平成28年）1月
宜山学区まちづくり推進委員会

キーワードモデル事業ピックアップ



砂像づくりと地産地消の収穫祭



龍王社の復活と石鎚幸せロードの整備



耕作放棄地の活用と高齢者の生きがいがづくり



消火栓ボックスの設置と防災訓練



里山整備活動



自主防災組織の確立と防災訓練

目 次

1. はじめに	1
2. 学区の概要	1
(1) 地勢	
(2) 歴史	
3. 学区の現状と課題	2
(1) 宜山学区内の主な施設	
(2) 人口と世帯数の推移	
(3) 高齢化率の推移	
(4) 小学校児童数の推移	
4. 宜山学区まちづくり部会別目標と事業について	4
(1) 福祉部会	
(2) 教養文化部会	
(3) 安心安全部会	
(4) 環境部会	
(5) ふれあい部会	
(6) 健康スポーツ部会	
5. アンケート集計結果	8
6. 学区概略図	20
7. 宜山学区まちづくり推進委員会組織図	21

「宜山しぐさ」とは

宜山小学校6年生が、宜山学区の大人たちのよさ（登下校の見守り・読み聞かせ・あいさつ・スポーツ指導等々）を見つけまとめたものです。それが「思いやりを行動に」です。

私たち大人は、小学生が見つけた私たちのよさを大切にするとともに、次の世代に引き継いでいきましょう。

1. はじめに

福山市においては、市制施行100周年となる2016年度（平成28年度）に向けて、今後どのようなまちづくりをめざすのか、そのために何を取り組んでいくのかなど、その方向性や重点項目を定めた「第二次福山市協働のまちづくり計画」を策定しました。

この行動計画の中の重点項目として、福山市民一人ひとりがまちづくりの主役として協力し合い、いきいきと活動できる協働の地域社会の実現に向けて、その将来像をまとめた「地域まちづくり計画」の策定を各学区に求めています。

そして、この度、宜山学区においても、新しい地域づくりを実現するため「地域まちづくり計画」を策定することとなりました。この計画の策定に当たっては、学区内のみなさまにアンケートを実施しました。

今後、一人ひとりの人権が尊重され、お互いが支えあえる地域をめざして「宜山学区まちづくり計画」にそって、みなさまと一緒に考えながら、各種の事業を実施していく予定です。

この計画の推進にあたっては、社会情勢やニーズの変化に対応するよう、柔軟に見直しを行いながら実施していきたいと考えています。今後、学区のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

2. 宜山学区の概要

(1) 地勢

宜山学区は福山市の北西部に位置し、福山市市街地の中心部から約10km、車で約30分程度の距離にあります。

学区の南には、高増山・石鎚山などの東西に走る山塊があり、学区の中を芦田川が東西に流れており、学区内には、県道395号線・396号線、大型農道が走っており、自然豊かで宅地と農地が混在している面積約12km²の地域です。

(2) 歴史

明治維新前、向永谷、大橋、今岡、上山守、下山守の5ヶ村は、いずれも福山藩に属し、各村に庄屋があつて統治されていましたが、1871年（明治4年）7月廃藩置県の際、県内に大小区制がしかれ、福山県下に属しました。

同じ年の11月、福山県が廃され深津県となり、1875年（明治8年）小田県が廃され、すべて岡山県下に属することとなりました。

1876年（明治9年）5月に広島県に併合され、6月に広島県支庁が福山に置かれ、宜山村はそこに属することとなり、1878年（明治11年）には広島県福山支庁が廃され、さらに郡区制がしかれ各村は独立または連合して戸長役場を置くこととなりました。

そして、1889年（明治22年）、町村制が施行されるにあたり、5ヶ村を合併して宜

山村と称することとなりました。

5ヶ村が合併して新しい村を作る際、村名については村人多数の意見として「宜山村」と県へ回答した結果、現在の宜山という地名が残りました。1955年（昭和30年）駅家町・宜山村・近田村・服部村が合併し、改めて駅家町が発足しました。

1968年（昭和43年）、川内地域が行政区は坊寺のまま宜山小学校区と認められ、1975年（昭和50年）、福山市へ合併と同時に各地域は町内会となり、川内町内会が宜山学区町内会連合会へ加わり、現在の宜山学区となりました。

（参考：宜山村誌）

3. 学区の現状と課題

宜山学区は、自然に恵まれ気候も温暖で、近年は、大きな災害もない温和な地域で、学区全体としては、世帯数・人口ともに増加傾向にあります。また、小学校の児童数も、この数年間においては増加してきています。一方で、高齢化率も年々上昇しており、宜山学区においても高齢社会の到来は否めない現実となっています。

学区を流れる芦田川の南にあつては、公共交通機関の便数や商店などが減少してきたため、通院・買い物などの日常生活において不便さがあり、アンケートにおいても、こうしたことに不安を持っている方が多くみられました。

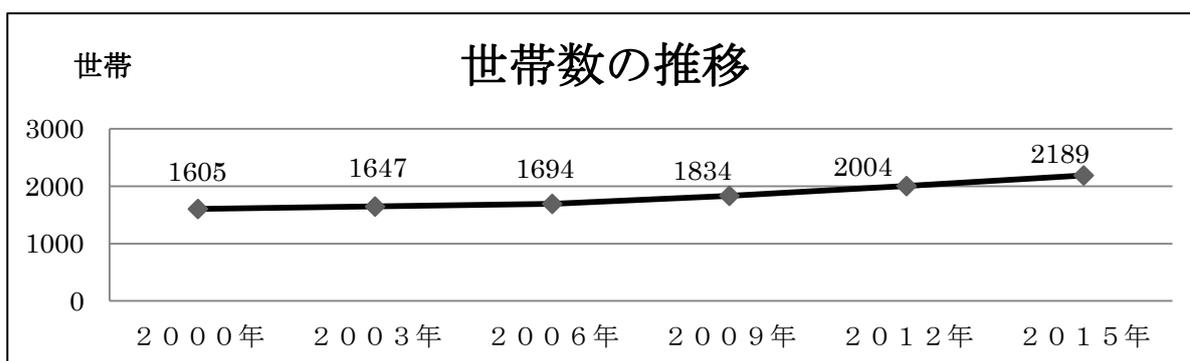
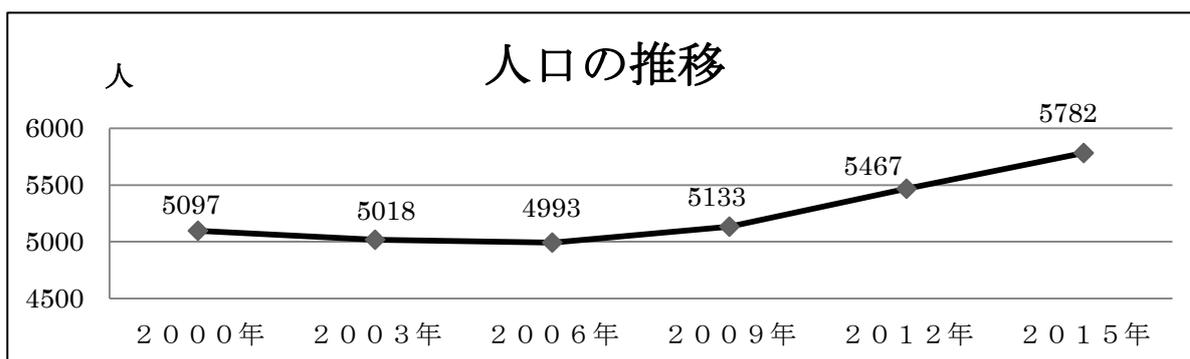
一方、芦田川の北側には大型店舗等があり、公共交通機関の便数も多く、戸数や人口に関しては増加傾向にあります。

学区内には、大型農道、県道395号線・396号線が走っていますが、地域の中に入ると、狭隘な道路のため離合や緊急車両が入っていくのが困難な個所が随所にみられます。

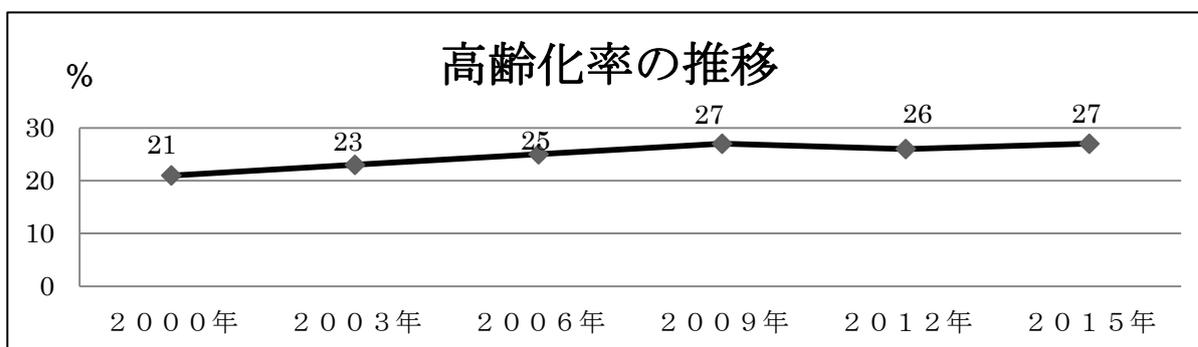
（1）学区内の主な施設

- ・宜山小学校
- ・宜山保育所
- ・宜山ひかり保育園
- ・宜山公民館
- ・動物愛護センター
- ・駅家南ふれあいプラザ
- ・宜山簡易郵便局
- ・農協宜山支店

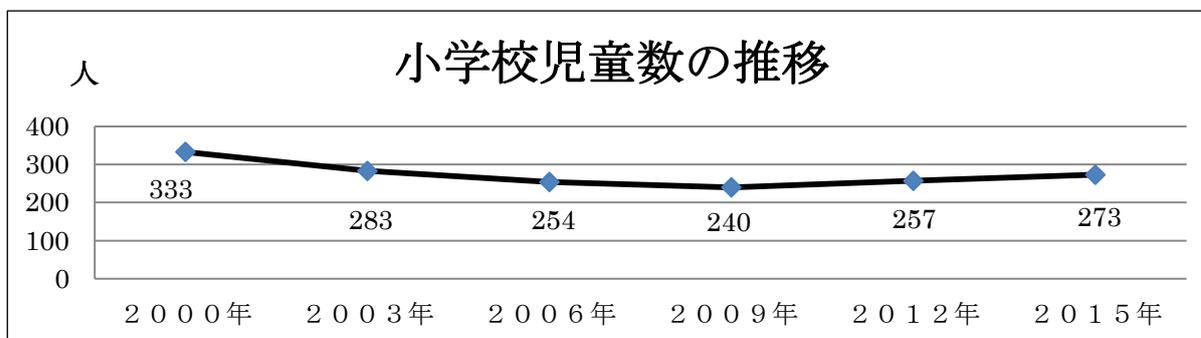
(2) 人口と世帯数の推移



(3) 高齢化率の推移



(4) 小学校児童数の推移



4. 宜山学区まちづくり部会別重点目標・事業計画

(1) 福祉部会

●部会目標

- ・高齢社会の中で、誰もが生きがいを持ち楽しく安全に暮らせるまちづくりをめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・誰もが気軽に参加でき、日々の暮らしに役立つ福祉の情報を提供する講演会などを実施する。
- ・買い物・通院などの交通の利便性を確保するための手法を研究する。
- ・高齢者が交流できる居場所づくりに取り組む。

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
高齢者の見守り活動の推進	見守り活動に関する研修と啓発	○			○		
講演会事業	福祉活動などに関する講演や講座の実施	○			○		
小学生への昔話と遊びの伝承	小学校3年生と高齢者の交流と高齢者の生きがいづくり	○			○		
高齢者ふれあい事業	高齢者相互の居場所づくり	○					○
買い物通院支援事業	通院・買い物などの支援に関する手法の研究			○			○



講演会



昔の遊びの伝承

(2) 教養文化部会

●部会目標

- ・ 少子高齢化が進む中、子ども・高齢者・障がい者・外国人が尊重しあい、安心して暮らせ、生きがいを感じることができるまちづくりをめざす。
- ・ 老若男女が音楽を通して交流し、感受性を高め、楽しさや生きがいを感じることが出来るまちづくりをめざす。
- ・ 地域で活動しているサークルや地域住民の作品の発表を通して健康で楽しく生きがいを感じ、交流が図れるまちづくりをめざす。
- ・ 宜山学区に住んでよかったと、地域に愛着がもてるまちづくりをめざす。
- ・ 地域住民が人権を尊重しあい、住みよい地域づくりをめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・ 地域課題や社会的課題の各種講演会・研修会を開催する。
- ・ 人材育成をめざす講演・講座を開催する。
- ・ 世代性別を問わず多くの人に参加し、音楽を通して交流を図るコンサートを実施する。
- ・ 地域で活動しているサークルや地域住民の発表の場を提供する。
- ・ あいさつすることで交流を図り、楽しさや生きがいを見つけ、宜山に住んでよかったと言えるような運動を展開する。
- ・ 昔の遊びや、伝統的な行事の継承で世代間の交流を図る。

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
生涯学習・講座	子育てに関する講座などの実施	○			○		
コンサート	コンサートの実施	○			○		
作品展	学区内の個人・団体の作品の展示	○			○		
ふれあい事業	あいさつ運動・しめ縄づくりなどの交流事業の実施	○					○
体験活動	キャンプなど体験活動の実施	○			○		
平和学習	追悼キャンドルナイトなどの平和学習の実施	○				○	



コンサート



作品展

(3) 安心安全部会

●部会目標

- ・防火・防災・防犯・交通安全など、安心・安全なまちづくりをめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・通学道，生活道の危険個所の把握・見直し・改善を行う。
- ・防災マップ作成に向けて取り組む。
- ・防犯意識・防火意識の向上に向けて取り組む。



防災講演会

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
防災学習会	防災意識の啓発	○			○		
交通安全推進	交通安全の推進	○			○		
防犯啓発	防犯意識の向上	○			○		
防火啓発	防火意識の向上	○			○		

(4) 環境部会

●部会目標

- ・環境にも人にもやさしく，美しいまちづくりをめざす。
- ・住みやすいまちづくりをめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・環境問題に関する取り組みを学ぶため施設見学等を行う。
- ・ばら育成活動を行う。
- ・公園の管理・清掃活動を行う。
- ・粗大ごみ集積場へ分別内容などを記した看板を設置する。
- ・環境整備の推進と啓発を行う。
- ・ごみ問題に限らず幅広い環境分野に活動を広げる。



環境問題学習会

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
環境にやさしいまちづくりの推進	環境問題に関する研修と啓発	○			○		
環境整備	地域の清掃・整備	○			○		

(5) ふれあい部会

●部会目標

- ・みんながふれあい助け合う優しい（思いやりのある）まちづくりをめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・子どもたちから思いやりを贈る取り組み。
- ・子どもたちへ思いやりを贈る取り組み。
- ・世代を超えて集まることができる活動に取り組む。
- ・世代を超えた文化的・芸術的活動に取り組む。



敬老会文化祭

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
世代間交流	敬老会文化祭での保小中の出演	○			○		
映画会	映画会の開催による交流	○			○		
文化祭	敬老会文化祭での演芸	○			○		
お楽しみ会	芸術鑑賞	○			○		
フリーマーケット	フリーマーケット	○				○	

(6) 健康スポーツ部会

●部会目標

- ・年齢や性別を問わず参加できる行事を通して、健康的で活発なコミュニケーションを図ることができる学区をめざす。

●目標達成のための活動展開

- ・事業の実施について周知を図り、より多くの学区民の参加により、学区全体の交流と健康意識の高揚に取り組む。

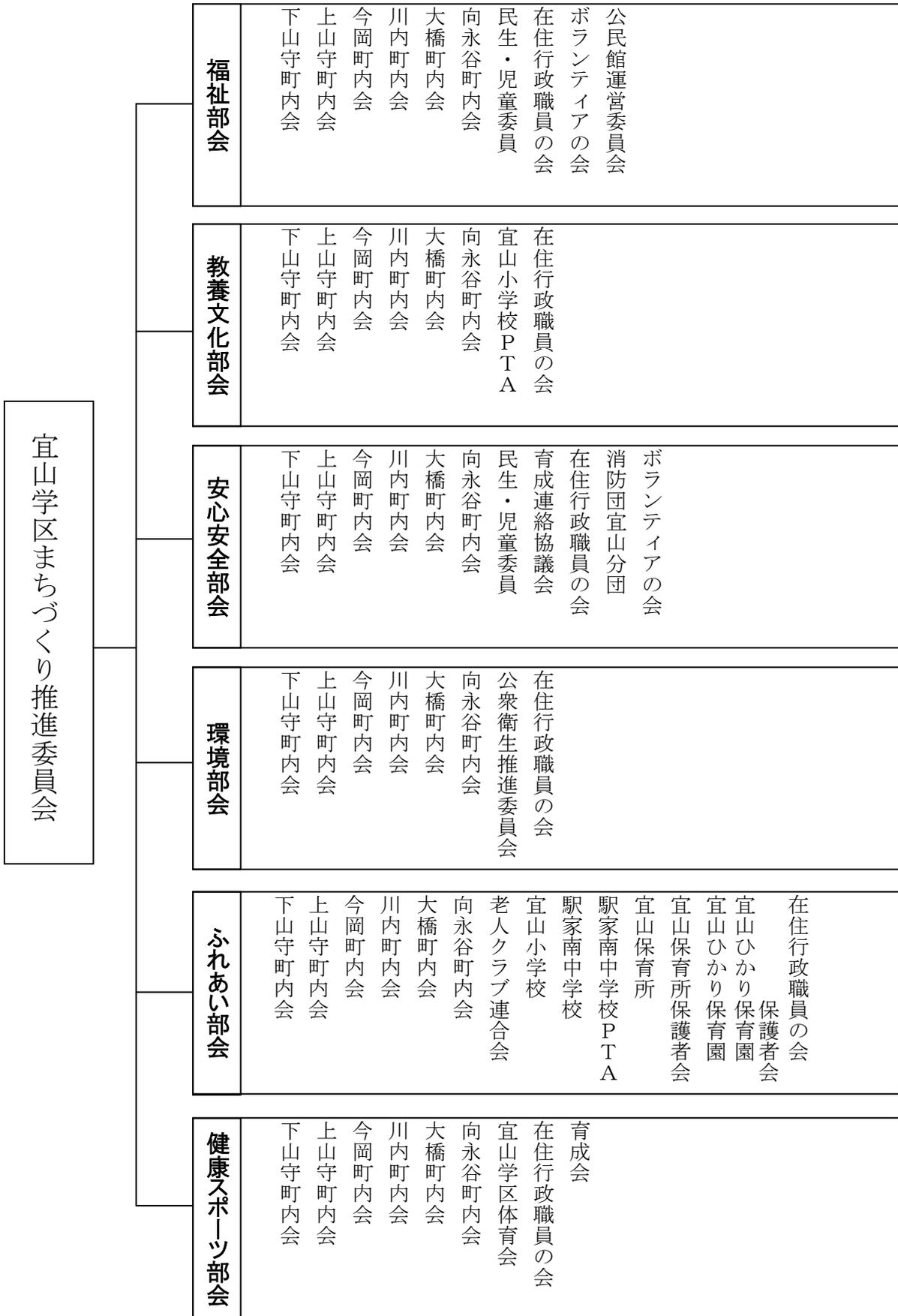


ニュースポーツ大会

●具体的な事業

事業名	事業内容	役割分担			実施期間		
		学区	行政	協働	継続	中期	長期
ニュースポーツ推進事業	ニュースポーツの開催による交流と親睦	○			○		
ふれあいスポーツ事業	スポーツを通じたふれあいと交流	○			○		
ふれあい健康事業	健康の維持と増進につながる事業の実施	○			○		

宜山学区まちづくり推進委員会組織図



さまざまなまちづくり事業



子どもマナー教室



異文化交流事業



体験活動(キャンプ)



キッズ講座



冬のお楽しみ会



親の力を学びあう学習会



親子料理教室



ローズバトンリレー



宜山学区まちづくり計画

2016年(平成28年)1月

発行 宜山学区まちづくり推進委員会

福山市駅家町今岡435-7

福山市宜山公民館 内

Tel 084-976-4791